

平成22年度 金融教育研究校としての取り組み

「キャリア教育としての金銭・金融教育の研究」

【ねらい】

本校では、「キャリア教育」を総合学習のテーマとしている。総合学習を、将来に関わる自らの生き方・在り方を追求するための機会、より深く問題を解決する能力を育成する場として活用し、生徒が主体的に進路を選択・決定出来るよう、様々な取り組みを行ってきた。

自らの生き方・在り方を社会の現実に沿って考えるために、金銭の問題は大変重要である。「どのような形でいつまでにどれほどお金を稼ぎ、何にいくら費やすのか」という点について展望を持ち、自分の生活を現実的に設計していく力をつけることは、社会人として主体的に生きるために必要であると考え。そこで、「キャリア教育としての金銭・金融教育」をテーマとした金融教育の研究に取り組みたいと考えた。

【内容】

1：4月15日・同22日、2学年総合学習

「私の命を育んだお金はいくら？」「金融取引の基礎知識」

2：5月27日、1学年総合学習

「消費者教育」のテーマで、千葉県消費者センター講師の講演

（商品の契約、クレジットカード、携帯・インターネットのトラブル等について）

3：7月1日、1学年・2学年（合同）総合学習

「生活設計について」のテーマで、千葉県金融広報委員会講師の講演

（リーフレット「これであなたもひとりだち」を使用）

4：9月2日、1学年・2学年（合同）総合学習

「金融経済教育」東京ベイ信金

「多重債務者問題」バイクコミュニティ研究所

「社会福祉教育」市川市社会福祉協議会

「情報リテラシー教育」千葉県警察本部 サイバー犯罪対策室

官民学連携による社会人の基礎力教育の実践。

（「これであなたもひとりだち」、「多重債務とは」、「ボランティアのしおり」を使用）

今後も、総合学習での講演や、通常授業での取り組みを予定している。

※この取り組みは、平成22年度、同23年度の2カ年にわたって行われるものである。

